

カリキュラム区分		5カリ			シラバス区分		大学院		
科目区分	科目コード	履修時期		開講専攻	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）		時間	単位
		学年	学期						
専門分野	M209	1年	前期	看護学	選択	育成支援看護学特論Ⅰ Advanced Study of Developmental Child NursingⅠ		30	2
担当教員									
豊田 ゆかり		仲渡 江美		藤原 紀世子					
関連するDPキーワード（看護学専攻）									
☐	① 看護に関する理論学習を通して経験を意味づける力を身につけている。								
	② 人々の健康に関連する諸現象を分析し構造化する力を身につけている。								
	③ 論理的に思考し他者にわかりやすく説明する力を身につけている。								
☐	④ 看護実践の場においてリーダーまたは管理者、教育者として個人や集団を動かす力を身につけている。								
☐	⑤ 看護実践の質の向上に向けて問題意識を持ち、科学的に追求していく方法と態度を身につけている。								
☐	⑥ 保健医療分野に関して広い見識を身につけている。								
関連するDPキーワード（医療技術科学専攻）									
	① 臨床検査学について自ら深く学習する力を身につけている。								
	② ヒトの体の仕組みや機能を科学的に説明する力を身につけている。								
	③ 健康・病気について論理的に思考し他者に分かりやすく説明する力を身につけている。								
	④ 臨床検査実践の場においてリーダーまたは管理者、教育者として個人や集団を動かす力を身につけている。								
	⑤ 臨床検査実践の質の向上に向けて問題意識を持ち、科学的に追求していく方法・技術を身につけている。								
	⑥ 保健医療分野に関して広い見識を身につけている。								
授業目的									
認知・精神分析理論から子どもの発達を理解し、子どもと家族をケアできるための看護に活用できる、理論が使えるようになる。									
到達目標（授業目標）									
①認知発達理論・精神分析理論から子どもの発達が説明できる。									
②子どもの認知・言葉の発達を支える基盤が説明できる。									
③小児看護に活用できる理論が理解できる。									
④家族看護学を考えるためのシステム理論を活用して、事例の分析を行い理論に基づいた看護を考えることができるになる。									
⑤小児看護倫理を臨床場面において根拠を示し倫理的判断ができるようになる。									
回	授業計画（項目・内容と方法・担当者）								
1回	ガイダンス：これからの講義と学習の方法について（豊田ゆかり）								
2回	発達理論(1)：認知発達理論について（仲渡江美）								
3回	発達理論(2)：精神分析理論について（仲渡江美）								
4回	子どもの発達：ヒトの言語発達を支える基盤－実行機能と心の理論－（仲渡江美）								

5回	子どもの権利と看護：子どもの権利と関連概念、プレバレーション（藤原紀世子）									
6回	子どもの状況理解：子どものストレス対処と看護（藤原紀世子）									
7回	看護理論理解（1）：実践と理論の関係について（豊田ゆかり）									
8回	看護理論理解（2）：子どもと家族のストレングスモデルに関する研究の動向（豊田ゆかり）									
9回	看護理論理解（3）：理論を活用した小児看護実践研究動向（1）（豊田ゆかり）									
10回	看護理論理解（4）：理論を活用した小児看護実践研究動向（2）（豊田ゆかり）									
11回	家族看護理解（1）：家族看護に必要な支援を明らかにするアセスメント枠組み理解（1）（豊田ゆかり）									
12回	看護理論理解（2）：家族看護に必要な支援を明らかにするアセスメント枠組み理解（2）（豊田ゆかり）									
13回	看護理論理解：事例分析を通じた看護理論の活用（豊田ゆかり）									
14回	倫理と判断：小児看護倫理の考え方を基にした実践場面における倫理的判断（豊田ゆかり）									
15回	まとめ：子どもと家族に関連する看護理論の臨床活用の意義と意味（豊田ゆかり）									
16回										
17回										
18回										
19回										
20回										
21回										
22回										
23回										
24回										
25回										
26回										
27回										
28回										
29回										
30回										
成績評価方法及び基準										
プレゼンテーション（30％） 課題レポート（70％）をもとに総合的に評価する。トータル60点以上を合格とする。										
教科書										
参考図書等										
授業時間外の学習について（授業準備のための指示）										
ガイダンス時及び各担当教員から授業前の事前準備（課題含む）について説明を行う										
関連科目										
前科目										
後科目	M210	育成支援看護学特論	M211	育成支援看護学特論	M212	育成支援看護学演習				
実務家教員										
備考										